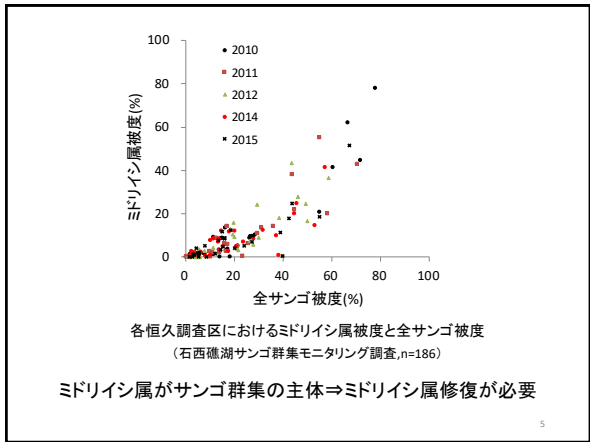
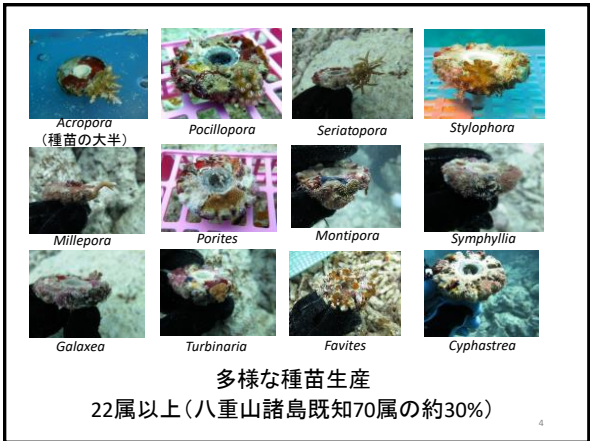
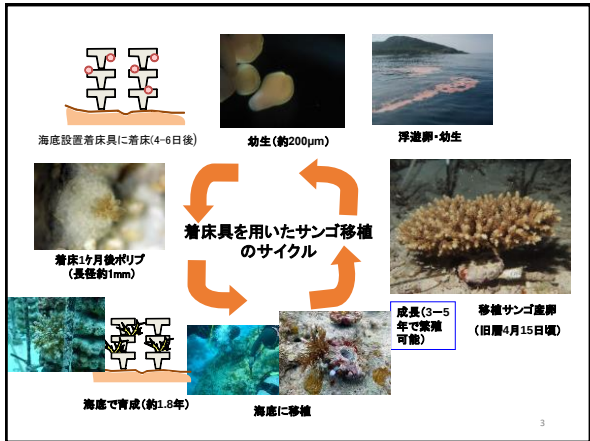


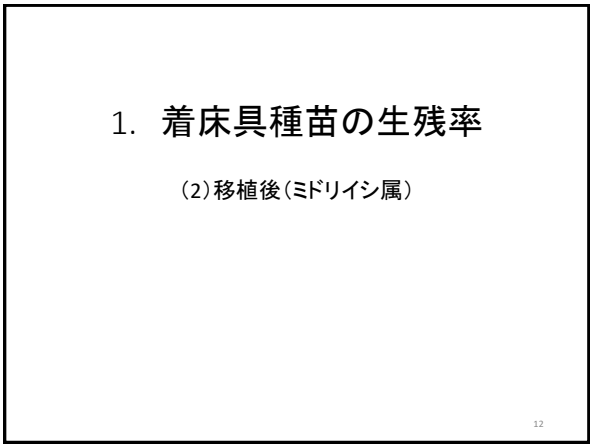
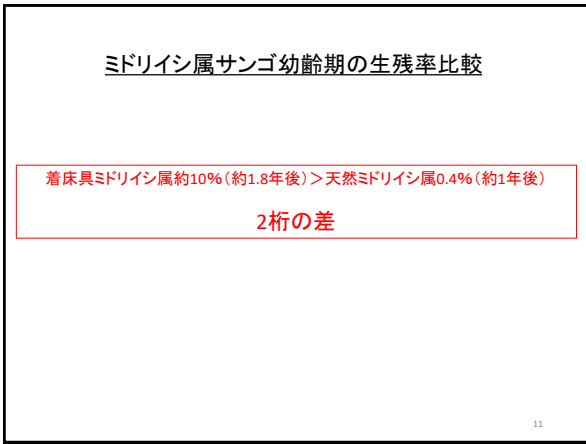
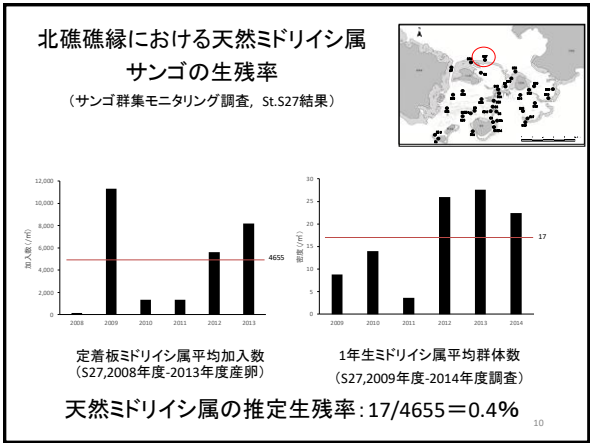
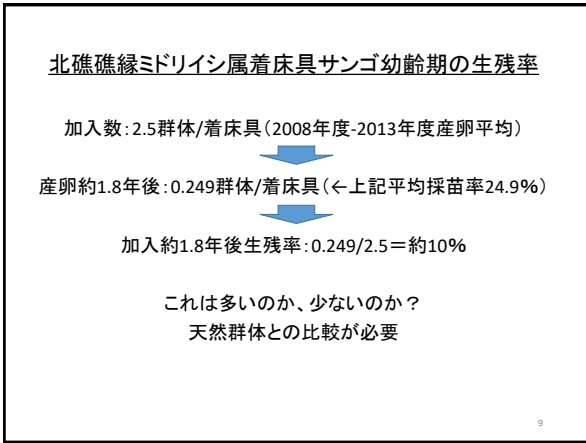
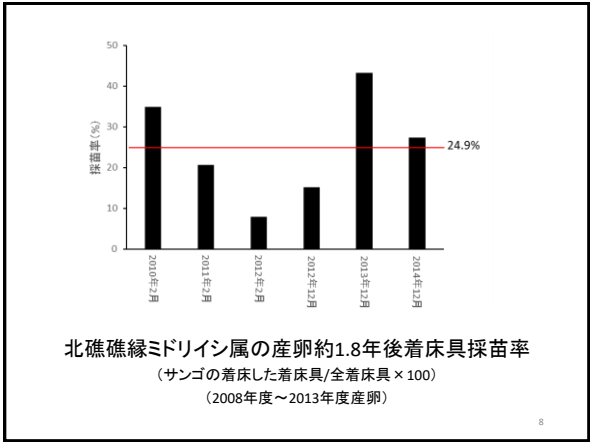
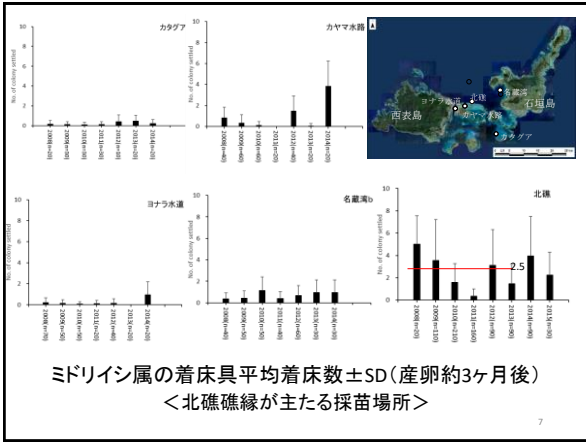
サンゴ幼生着床具を用いたサンゴ群集修復
藤原 秀一
＜いであ株式会社＞

資料-3

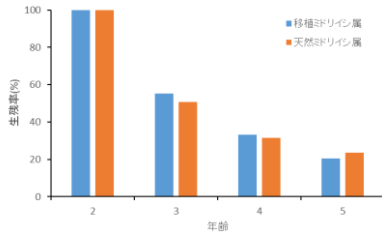


1. 着床具種苗の生残率

(1) 幼齡期(ミドリイシ属)



移植・天然ミドリイシ属の生残率比較



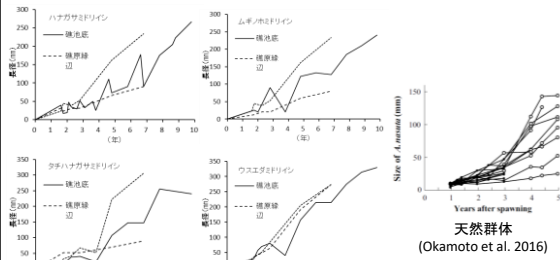
移植ミドリイシ属 (n=52, 黒島東礁池): 2007年度産卵着床, 2008年度移植 (約1.8齢),
A. nasuta, *A. selago*, *A. tenuis* 主体
天然ミドリイシ属 (n=719, 北礁礁縁): 2008年, 2009年産卵1年後-4年間,
A. hyacinthus, *A. digitifera*, *A. nasuta*, Okamoto et al., 2016から)

13

2. 着床具種苗の成長量

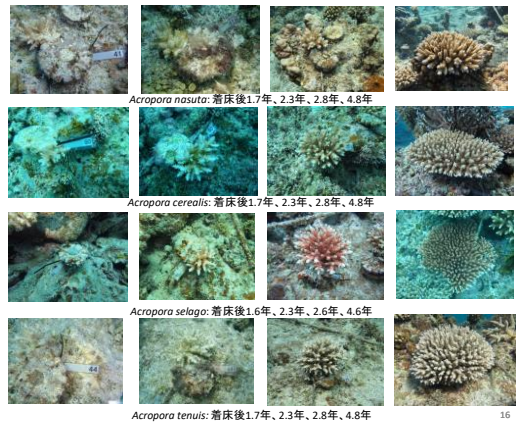
14

移植ミドリイシ属の成長比較 (産卵後10年)



着床具種苗 ≡ 天然群

15



16

3. 着床具種苗の再生産

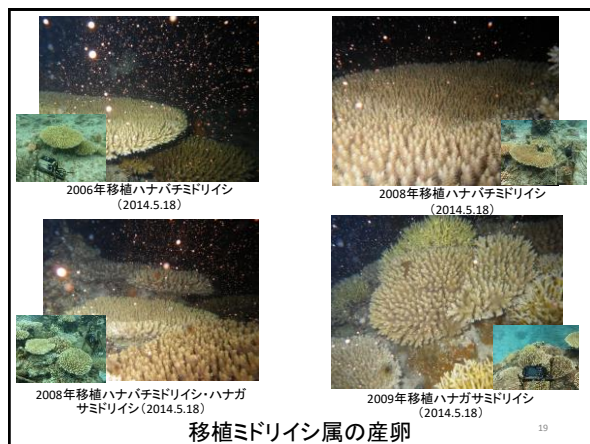
17

移植ミドリイシ属の産卵 2010年 (移植4年後) 以降毎年確認

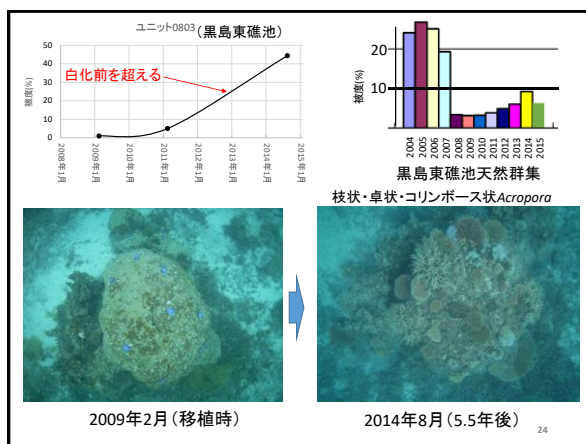
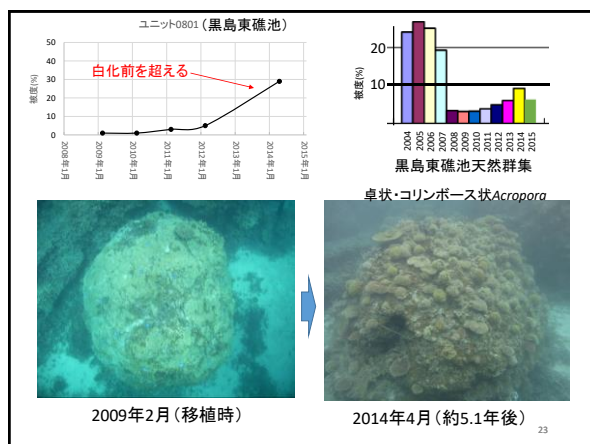
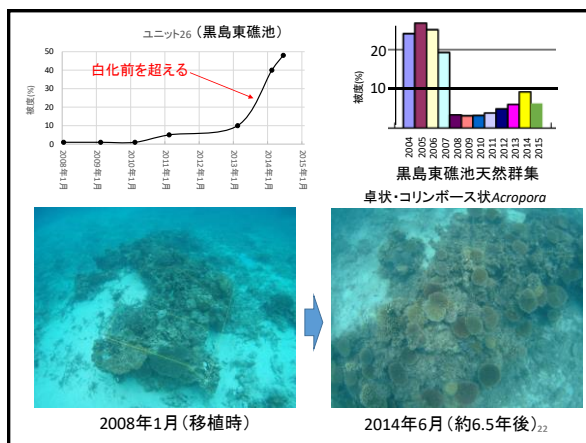
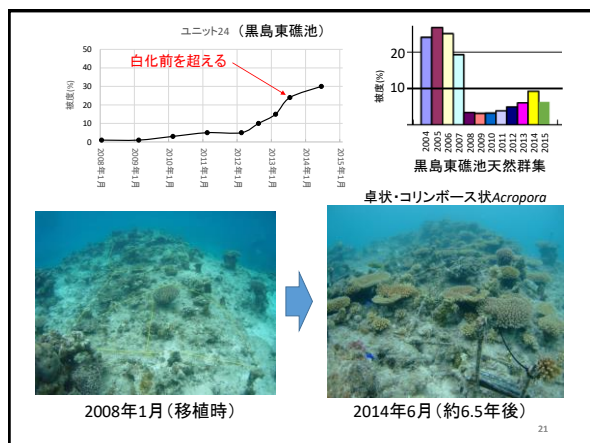


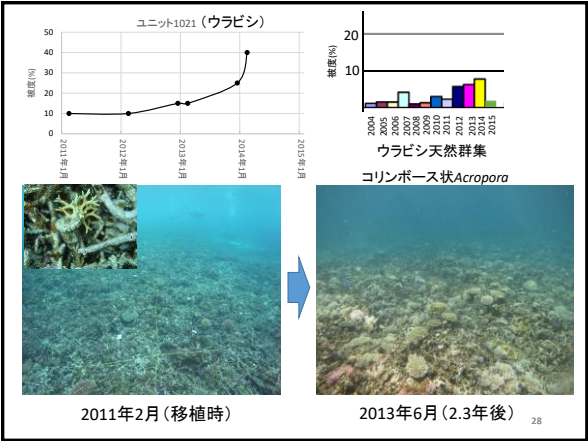
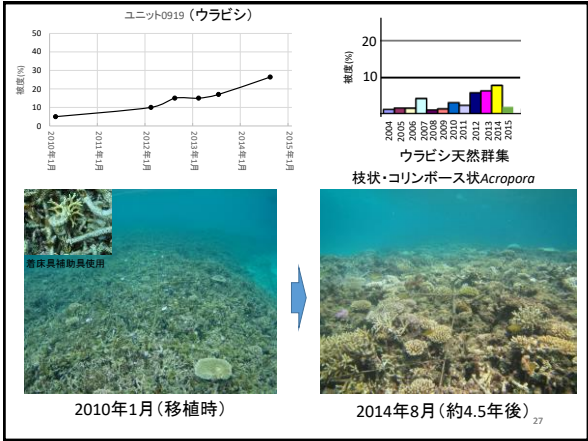
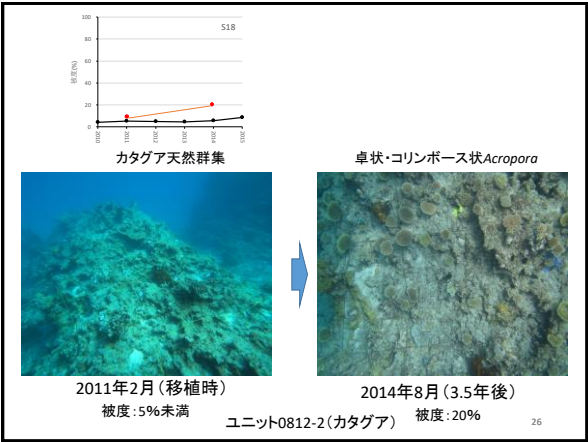
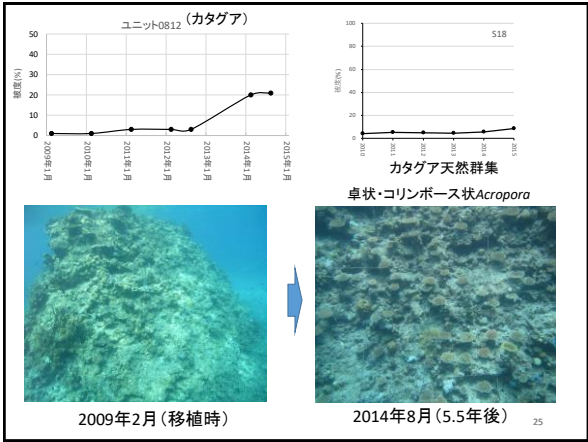
再生産は普通に発生

18

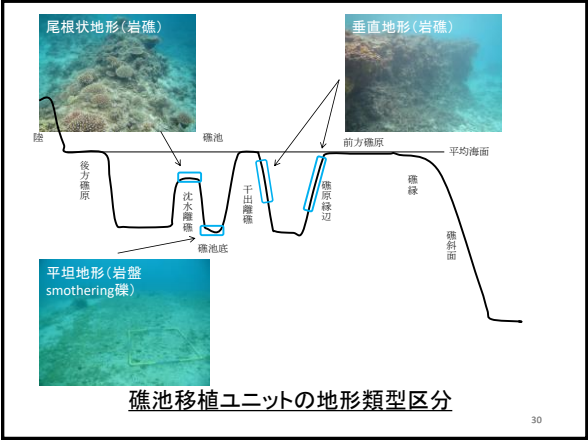


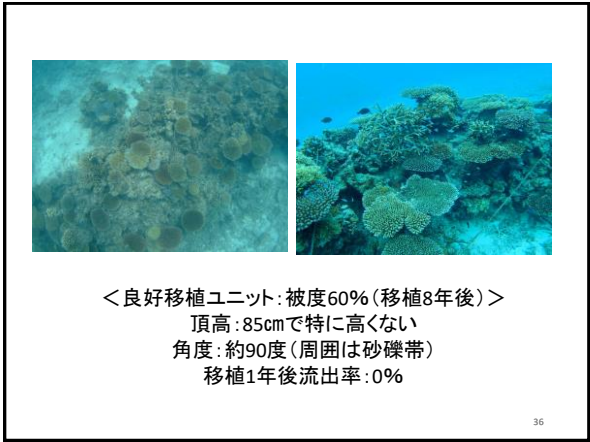
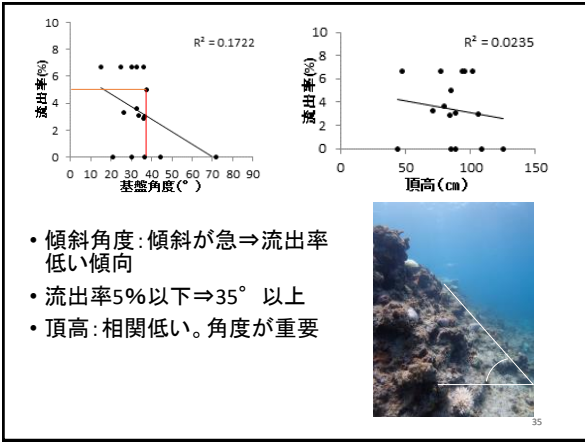
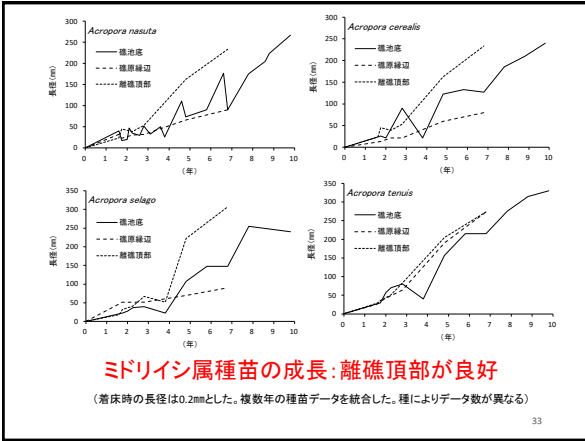
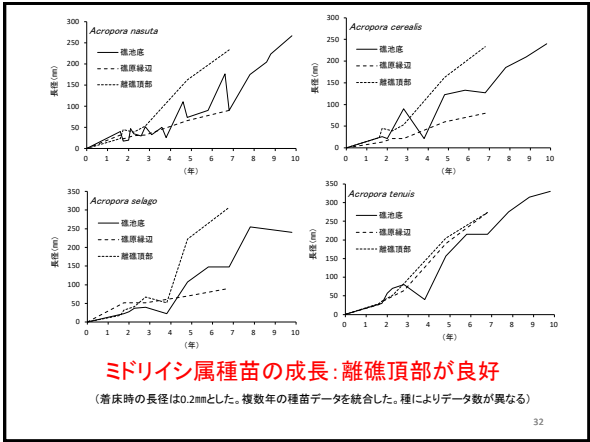
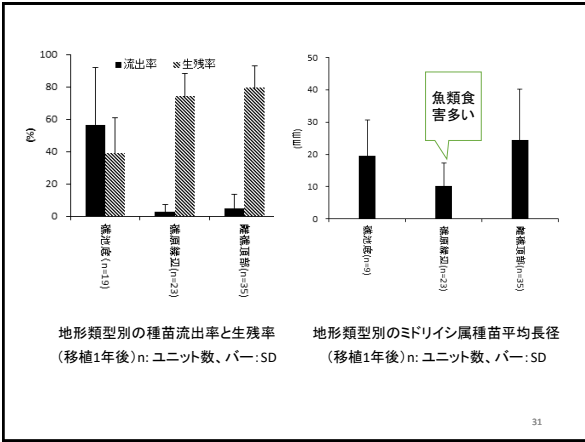
4. 着床具種苗による サンゴ群集の創生

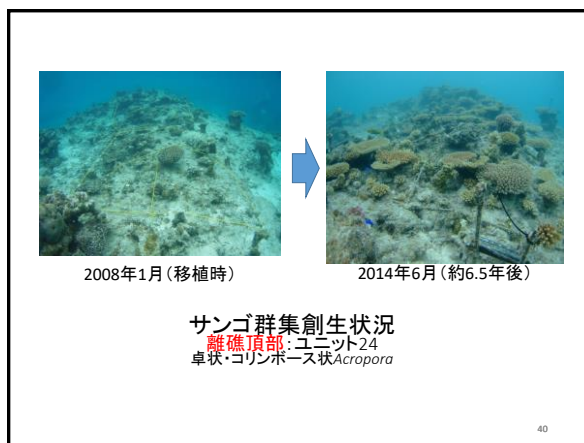
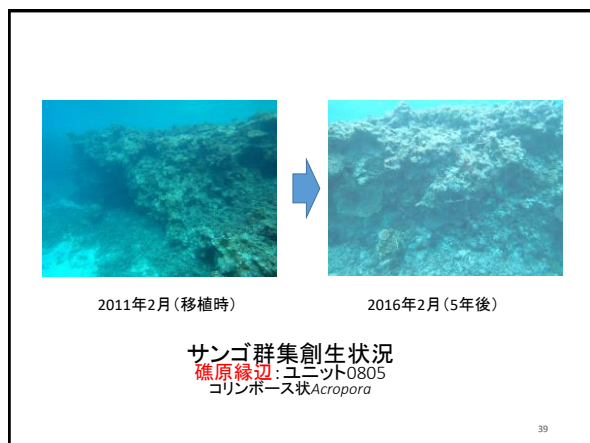
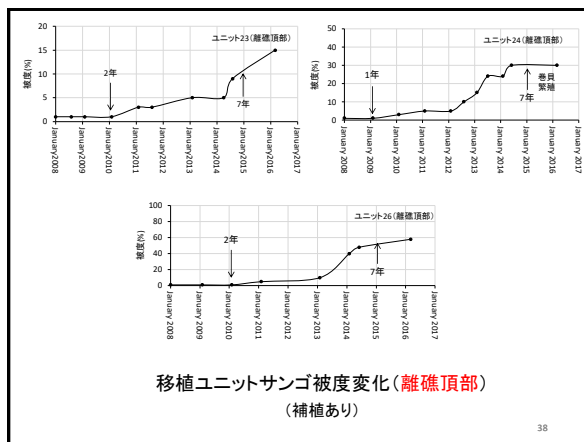
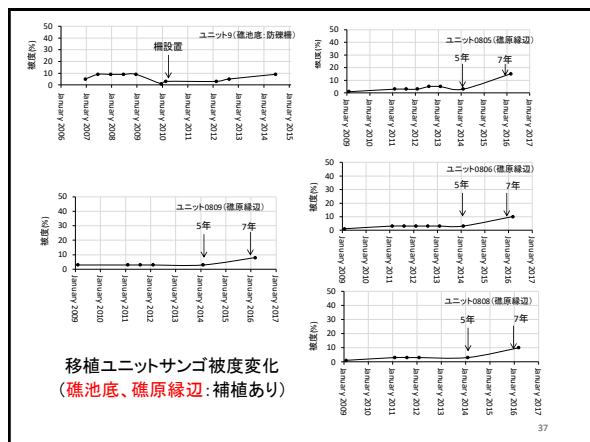




5. 移植サンゴ生残のカギ —底質と微地形—







まとめ

- ・着床具生残率(ミドリイシ属)は、天然群体と比較し、幼齢期で極めて高く、移植後は天然群体と同程度であった。
- ・着床具種苗(ミドリイシ属)の成長量は天然群体と同程度であった。
- ・着床具種苗(ミドリイシ属)の再生産は普通に行われた。
- ・着床具種苗による被度の増加は、天然群集を上回るユニットが多くみられた。
- ・移植の成否は、移植場所の地形に大きく依存する。